

# Crystal Reports XI R2 の新機能



## はじめに

このセクションでは、次のような Crystal Reports の最新リリースのコンポーネント、機能、および利点について説明します。

- 2 ページの「Crystal Reports XI R2」.
- 6 ページの「アプリケーションの開発」.
- 8 ページの「将来的な使用中止の通告」.

これらの主要な領域のすべてに新しい機能が用意されています。また、既存の機能セットに対しても機能強化がなされています。

## Crystal Reports XI R2

### クロスタブ

#### クロスタブのドラッグ アンド ドロップの機能強化

クロスタブからフィールドをドラッグしてフィールドを受け付けない領域にドロップすると、そのフィールドが破棄されるようになりました（適切な領域にドロップするとフィールドは挿入されます）。

また、デザイナーからクロスタブへ、サポートされるフィールドをドラッグできます。

**注** クロスタブの集計フィールドのドラッグは、サポートされません。

### Enterprise 接続

BusinessObjects Enterprise にログオンしてフォルダをナビゲートしながら目的の場所まで移動すると、最後に開いたフォルダが保持されます。Enterprise の [開く] ダイアログ ボックスまたは [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスを閉じると、その次にそのダイアログ ボックスを開いたときには最後に開いたフォルダが表示されます。

### エクスポート

#### PDF

[グループ ツリーからブックマークを作成] という新しいオプションがあります。これはソース Crystal レポートのグループ ツリーを使用して、エクスポートされた PDF にブックマークを作成し、その PDF 出力のナビゲートを容易にします。

## Excel – データのみ

[グループ アウトラインを表示する] という新しいオプションには、ソース Crystal レポートのグループ化情報が含まれていて、エクスポートされた Excel スプレッドシート内の Excel アウトライン情報と共に使用できます。それによって、エクスポートされた Excel ファイルのナビゲートが容易になります。

## CSV

- この機能には、次のような重要な変更がいくつか含まれています。
  - レポート / ページ / グループの各セクションが CSV レポートにどのように表示されるかを制御する、新しいオプションがあります。
  - レポートで条件付の非表示を優先するようになります。
  - 出力は、UTF-8 形式になります。
- [レガシー モード] というオプションによって、既存のレポートの移行が容易になります。できるだけ早く、[標準モード] に移行することが推奨されます。

# 書式設定

## カスタム カラー

Crystal Reports でカスタム カラーを保存できます。

## 書式ペインタとステータスバー

書式ペインタによる複数オブジェクトの書式設定は、機能拡張されてより直感的になりました。デザイナーの最下部のステータスバーは、タスク実行に必要な要件を伝えるメッセージの表示に使用されます。

[書式ペインタ] ボタンをダブルクリックすることで、複数のオブジェクトを書式設定できます。線オブジェクト、ボックス オブジェクト、およびテキスト オブジェクトに対してこのボタンをダブルクリックすると、複数のアイテムを作成できます。

# 数式

## グループのすべてのレベルに対する集計の追加

このオプションを使用すると、グループのすべてのレベルに対して一度に集計を追加します。

## 式エディタでのオートコンプリート

式エディタでは、フィールドを示す開きの中かっこ “{” を入力すると、オートコンプリートの一覧が表示されます。オートコンプリートの一覧には、レポートで使用できるフィールドが含まれています。この機能は、パラメータフィールド、式フィールド、および SQL 式など、他のレポート オブジェクトに対しても動作します。

**ヒント** 式エディタで使用できる関連機能には、**Ctrl + Space** を押して使用可能な関数の一覧を表示する機能があります。

## フィールド エクスプローラの式、積算合計、SQL 式、またはパラメータ フィールドのダブルクリック

フィールド エクスプローラで式をダブルクリックすると、式エディタが開いてその式が表示されます。

- 積算合計をダブルクリックすると、[積算合計フィールド] ダイアログ ボックスが開かれます。
- パラメータ フィールドをダブルクリックすると、[パラメータ] ダイアログ ボックスが開かれます。
- SQL 式をダブルクリックすると、SQL 式エディタが開かれます。

## 式、パラメータ、および積算合計の複写

[複製] というオプションは、フィールド エクスプローラの For 式で、式、パラメータ フィールド、または積算合計フィールドを右クリックすると使用できます。このオプションは、式エディタにも表示されます。

## [式の検索] および [フィールド エクスプローラの検索]

式およびフィールド エクスプローラで、データベース フィールドを検索できるようになりました。

- データベース フィールドに対して [式の検索] オプションを使用するには、フィールド エクスプローラのフィールドを右クリックして、[式の検索] を選択します。式ワークショップに、すべての式の中のこのフィールドに関連するすべての参照先が表示されます。
- レポート フィールドに対して [フィールド エクスプローラの検索] オプションを使用するには、レポートのフィールドを右クリックして、[フィールド エクスプローラの検索] を選択します。フィールド エクスプローラの選択されたフィールドを強調表示します。

一般的に、式ワークショップ内の式に対する検索の機能は大幅に強化されました。

## 式エディタ終了後の式フィールドの強調表示の継続

式を編集して式エディタを終了した後、選択した式がフィールド エクスプローラで強調表示されます。

## レポート機能全般

### 条件付の幅

レポート オブジェクトに対して、条件付の幅（y 位置）を指定する式を使用できるようになりました。この機能は、レポート オブジェクトの x 位置を条件付で調整する現在のオプションに似ています。

### 〔検索〕 ダイアログ ボックス

〔検索〕 ダイアログ ボックスは修正され、レポートを操作している間もバックグラウンドで維持されるようになりました。

### オンライン ヘルプ

〔オンライン ヘルプ〕 ダイアログ ボックスは修正され、レポートを操作している間もバックグラウンドで維持されるようになりました。

### フィールド エクスプローラの並べ替えフィールドの一覧

〔データベース フィールド〕 の下の表を右クリックすると、データベース フィールドをアルファベット順に並べ替えることができます。

### フィールドの交換

フィールド エクスプローラからフィールドをドラッグして、ドキュメントの他のフィールドを置き換えることができるようになりました。以前のオブジェクトのサイズ、配置、および書式が保持され、新しいオブジェクトによって置き換えられます。

## 〔HTML プレビュー〕 タブ

〔HTML プレビュー〕 タブの検索機能が強化されました。自分のレポート（表示可能なサブレポートも含む）のすべてのページから、入力した文字列を検索できます。全部のレポートがスキャンされると、検索ボックスには〔検索終了〕 メッセージが表示されます。

**注** この強化された検索機能は、DHTML ビューアでも使用できます。

## リポジトリ エクスプローラ

### Enterprise オブジェクトの作成 / 削除 / 移動

リポジトリ エクスプローラでは、フォルダからフォルダへオブジェクトを移動できます。同様にフォルダを移動することもできます。

Enterprise アイテム フォルダ内のレポートおよびフォルダも、リポジトリ エクスプローラ内で移動できます。

## カテゴリ

リポジトリ エクスプローラ内でカテゴリを作成、移動、および名前変更できます。カテゴリ内のレポートに対するオプションは、[割り当て] と [削除] です。カテゴリへ、およびカテゴリ間で、レポートを移動することもできます。他のカテゴリから、または Enterprise フォルダからドラッグ アンド ドロップを使用して、カテゴリを割り当てます。

**注** レポートは、カテゴリからフォルダへドラッグすることはできません。カテゴリは、本質的にショートカットだからです。

## 展開アイコン

ワークベンチ、リポジトリ エクスプローラ、およびフィールド エクスプローラでは、空のフォルダには展開アイコン (+) が表示されなくなりました。

## ショートカットのサポート

リポジトリ エクスプローラに、ショートカットのサポートが追加されました。

# ワークベンチ

## 現在のレポートの追加

ワークベンチの新しい機能は、[現在のレポートの追加] です。この機能によって、現在開いているレポートをワークベンチに追加できます。

# アプリケーションの開発

## Report Application Server (RAS)

Report Application Server には、次のような新しい機能が含まれています。これらの機能の詳細については、Crystal Reports 開発者向けヘルプを参照してください。

- 新しい ModifyUserPaperSize API が用意されています。
- 新しい ReplaceConnection API が用意されています。
- エクスポート形式の列挙と新しい Crystal Reports オプションが一致します。
- 保存されたレポート エクスポートのオプションが追加されました。
- セッションを使用しない RAS のサポートが追加されました。

## Java Reporting Component (JRC)

Java Reporting Component には、次のような多くの新機能が含まれています。これらの機能の詳細については、Java Reporting Component API の資料を参照してください。

- JRC は、編集可能な RTF および CSV 形式へのエクスポートをサポートするようになりました。
- JRC は、データ ソースとして XML データセットを使用することで XML プッシュをサポートするようになりました。
- JRC は、フォルダ パスへのレポートの保存をサポートするようになりました。
- JRC は、印刷出力コントローラとして機能し、サーバー側で印刷ができるようになりました。
- JRC は、レポートのデータ ソースとして Plain Old Java Objects (POJO) を使用できるようになりました。
- JRC は、ロケールのサポートを `setLocale` によって更新しました。

## Crystal Reports .NET

Crystal Reports .NET には、次のような新機能があります。これらの機能の詳細については、Crystal Reports .NET オンライン ヘルプを参照してください。

- Crystal Reports for Visual Studio 2005 のプロジェクトは、64 ビット コンピュータでもサポートされます。
- Crystal Reports は、Visual Studio 2005 に導入された Windows アプリケーションの ClickOnce 導入を完全にサポートします。
- Crystal Reports のコードの断片は、Visual Basic を使用して Web サイトや Windows プロジェクトを作成するときに使用できます。
- CrystalReportViewer コントロールにも、いくつかの改善がありました。
- Crystal Reports for Visual Studio 2005 では、アクセシビリティも改善されました。
- Crystal Reports for Visual Studio 2005 は、Unicode から GB18030-2000（中国文字のエンコード規格）まで、各国の文字をサポートします。
- Crystal Reports for Visual Studio 2005 では、埋め込まれた Crystal Reports Designer に [プレビュー] タブが追加され、設計中にレポートをプレビューできます。
- 新しい Web サイトや Windows プロジェクトを作成するときに、プロジェクト テンプレートを選択できます。

# 将来的な使用中止の通告

## 概説

テクノロジーの変遷に伴って、Business Objects でのこれらのテクノロジーの使用も変化します。ほとんどの場合、この変化はユーザーには影響せず、透過的に管理されます。しかし、場合によっては、あるテクノロジーや機能のサポートが修正されたことが、ユーザーに影響を及ぼさざるを得ないことがあります。ある機能のサポートがなくなる場合、事前に通告されます。Business Objects では、機能のサポートがなくなる 2 リリース前には通告することを目安としています。

まれに、テクノロジーの変化が急激なため、そのような通告が間に合わないことがあります。そのような場合は 1 リリース前に通告され、当社のポリシーの例外として注意書きが添えられます。

サンプル レポートおよびサンプル アプリケーション コードについては、通告なしで使用できなくなり、サポートが中止され、製品から削除されます。

将来ある機能が使用中止になるという発表からその機能のサポートが終了するまでの期間は、使用中止期間と呼ばれます。使用中止期間中は、使用中止になる予定の機能は製品内で完全にサポートされていて、その製品バージョンがサポートされている間はその機能に関するテクニカル サービスも利用可能です。

サードパーティ プラットフォームの急な変更によって、製品の各バージョンのリリース直前にサポートされるプラットフォームのリストが変更されることがあります。Business Objects には制御できない事項であるため、これらの変更はリリース通告のポリシーには該当しません。

**注** このドキュメントにおける使用中止の発表に関する内容は、顧客のフィードバックやその他の要因によって、変更されることがあります。

## Crystal Reports

- COM DHTML ページ ビューア、COM DHTML アドバンスド ビューア、COM DHTML パーツ ビューア、および COM DHTML グリッド ビューア。

ページ ビューアとパーツ ビューアは、XI の .NET には現在等価の代替機能があります。高度なビューアとグリッド ビューアの機能は、将来のリリースでは .NET Webform の追加機能と見なされます。Active X ビューアは、使用中止にはなりません。



- RDC (Report Design Component)。

この使用中止には、RDC SDK と埋め込みの Visual Basic デザイナーの両方が含まれます。

- .NET、Java、および COM Mobile のパーツ ビューア。

モバイル テクノロジーの傾向から、より多くのモバイル デバイスで普通の HTML を使用できるようになり、モバイル専用のビューアは不要になっていくことが示唆されています。BusinessObjects XI Release 2 では、Crystal Reports で生成された PDF ファイルのビューアとして Blackberry Enterprise Server に対するサポートが追加されます。

## Report Application Server

- RAS COM SDK。
- 接続ディレクトリ マネージャ。

このマネージャによって提供される機能は、リポジトリ ベースの接続オブジェクトによって置き換えられます。

## COM SDK

このドキュメントでは、Crystal Reports および BusinessObjects Enterprise の多くのパブリック COM (コンポーネント オブジェクト モデル) SDK の使用中止を発表します。COM は Microsoft のテクノロジーなので、このテクノロジーのサポートに関して Business Objects では、Microsoft の方針に従います。この文章を記述している時点で、Microsoft は COM ベースの開発ツール (Visual Basic 6 や Visual C++ 6 など) のサポートを今後数年のうちに終了すると発表しています。Visual Basic 6 は 2008 年 3 月に、Visual C++ 6 は 2005 年 9 月に、サポートが終了します。

Business Objects の COM SDK は、BusinessObjects XI Release 2 リリース後、3 ～ 5 年間はサポートされます。つまり、2008 ～ 2010 年のタイム フレームで BusinessObjects XI Release 2 のサポートが撤回されるまでは、サポートされている COM SDK ソリューションを使用できます。

これらのテクノロジーの移行パスについて、次に説明します。

XI COM ベースのテクノロジー	BusinessObjects XI で使用可能な代替テクノロジー
BusinessObjects Enterprise CSP ページ BusinessObjects Enterprise ASP ページ	JSP ASPX
BusinessObjects Enterprise COM SDK	BusinessObjects Enterprise Java SDK BusinessObjects Enterprise.NET SDK BusinessObjects Enterprise サーバー コントロール BusinessObjects Web サービス JSF コントロール
URL レポート用 Viewrpt.cwr	Viewrpt (Java サーブレット) Viewrpt.aspx Opendocument (Java サーブレット) Opendocument.aspx
Crystal ReportsReport Application Server (RAS) COM SDK	Crystal Reports Java SDK Crystal Reports .NET SDK RAS Java SDK RAS .NET SDK
Crystal ReportsReport Design Component (RDC)	Crystal Reports Java SDK Crystal Reports .NET SDK
Crystal Reports COM DHTML ビューア	Crystal Reports Java DHTML ビューア Crystal Reports .NET DHTML ビューア

## OLAP Intelligence

- 保存されたビュー。  
この機能は、[名前を付けて保存] 機能によって置き換えられます。
- レポート エキスパート。
- ディメンション エクスプローラ内のピボット コントロール。
- Hyperion Essbase レガシー ドライバ。  
このドライバは、新しい機能拡張されたドライバによって置き換えられます。
- IBM DB2 OLAP レガシー ドライバ。  
このドライバは、新しい機能拡張されたドライバによって置き換えられます。

## Data Integrator

- MQ Series Technology Interface。

この機能は、JMS Technology Interface によって置き換えられます。

## BusinessObjects Enterprise

- Crystal Server Pages (CSP) および Web Component Adapter (WCA)。

BusinessObjects XI では、JAVA および .NET は主要なアプリケーションサーバー テクノロジとしてサポートされます。

- Enterprise COM SDK。
- Windows と UNIX の両方のプラットフォームでの処理拡張機能。

将来のリリースでは、Business Objects は現在の処理拡張機能の使用ケースをサポートするパブリック セマンティック レイヤ SDK を導入します。

- SOCKS プロキシ サーバー。

現在 SOCKS プロキシ サーバーをご使用の場合は、他のファイアウォール タイプに変更されることをお勧めします。ファイアウォールのサポートについての詳細は、『BusinessObjects Enterprise 管理者ガイド』を参照してください。

